

ペースメーカー遠隔モニタリング一括管理システム 仕様書（保守）

| | |
|----------|---|
| 1 | 保守業務内容について |
| 1-1 | 対象機器については、次のとおりとする。 |
| 1-1-1 | ペースメーカー統合管理システム及びABL/EPSレポーティングシステムとする。 |
| 1-2 | 業務内容については、次のとおりとする。 |
| 1-2-1 | <p>対象機器に障害が発生した場合、受託者は速やかに調査し、復旧させること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付時間は、平日9:00から17:00までとし、電話対応に加え、当センターへの訪問対応とする。 ・不具合発生時の電話での問い合わせは、平日9:00から17:00にて対応する。 ・障害原因がネットワークに起因するものであると判明した場合、委託者の医療情報システム保守業務受託業者と連絡調整及び協力し、復旧させること。 |
| 1-2-2 | <p>センターとプログラム開発箇所を回線で接続し、システムに関してリモートメンテナンスを行うこと。</p> <p>なお、リモートメンテナンス用の回線は当センターの集約回線に乗せること。</p> <p>回線接続に関しては、情報漏洩やセキュリティについて十分留意し、運用すること。</p> <p>なお、本契約の解除または終了時には、リモートメンテナンス装置は、委託者が確認の後、受託者の立会いのもとに処分されるものとする。</p> |
| 1-2-3 | 院内設置のサーバに対し、年1回の定期点検を行うこと。 |
| 1-2-4 | <p>院内設置のサーバに対し、上記1-2-1、1-2-2、1-2-3に加え、以下の業務を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせへの対応等のサポート ・保守部品の確保 ・定期点検の管理 ・保守部品の交換管理 ・保守作業履歴の管理 |
| 1-2-5 | 障害対応、修理に係る費用（作業料、派遣料、機材及び部品代）は、保守契約料金内に含まれるものとする。 |
| 1-2-6 | その他、必要な諸作業 |
| 2 | 委託期間について |

| | |
|----------|--|
| 2-1 | 納入日から84ヵ月間とする。 |
| 3 | 委託料について |
| 3-1 | 本体サーバ等におけるシステム保守費用と月額利用料を委託料という。 |
| 3-2 | 委託料のうち、本体サーバ等にかかるシステム保守費用は、納入日から発生し、契約最終月まで毎月発生するものとする。 ただし、納入日から1年間は無償保証とする。 |
| 3-3 | 委託料のうち、月額利用料は、納入日の属する月は無償とし、納入日の属する月の翌月から契約最終月まで毎月発生するものとする。 |
| 3-4 | 委託料のうち、月額利用料は、登録患者の増減にかかわらず契約期間中は定額制とすること。 |
| 4 | 委託料の請求について |
| 4-1 | 委託料の請求は、当センター指定の業務完了報告書を提出し、検査員の確認を受けた後、当センター指定の方法により毎月請求するものとする。 |
| 4-2 | 納入日による日数の端数が発生する場合には、当センターと協議のうえ決定する。 |
| 5 | セキュリティ及び資料等の管理について |
| 5-1 | 資料等、作業中のデータ及び委託者に帰属した成果物を、委託者の承諾を得ずに、委託者の指示する目的以外に使用及び第三者への提供をしてはならない。 本件業務を行わなくなった後においても同様とする。 |
| 5-2 | 委託者の承諾を得ずに、資料等、作業中のデータ及び委託者に帰属した成果物を作業場所から持ち出してはならない。 |
| 6 | その他 |
| 6-1 | 委託者からの連絡、依頼による問い合わせ、不具合、要望等に関し、誠意をもって検討・対応すること。 |
| 6-2 | 必要な障害復旧修理を行った後、復旧後の確認と委託者への報告を行うこと。 |
| 6-3 | 受託者は、委託者の定める諸規定を遵守し、当センター内における秩序維持に努めるとともに、責任ある行動に努めること。 |
| 6-4 | 受託者は、本件業務の実施について仕様書及び委託者から提出された資料等に明記されていない事態が発生した場合、速やかに委託者に報告し、委託者の指示を仰がなければならない。 |
| 6-5 | その他予期せぬ事態が発生したときは、協議のうえ処置を決定する。 |